

JR西日本で培った鉄道の

コロナ禍で苦しむ 公共交通への支援策を実現

― 柿本議員、梶原議員の両議員には、議会で地方ローカル線の課題やコロナ禍でのJR西日本の窮状などを取り上げ、支援を訴えていただいています。

柿本 組合員は、新幹線や幹線、ローカル線に関係なく、安全運行のために日々奮闘しています。

一方、議会や議員は、鉄道、公共交通に対する知識、知見がなく、ローカル線の話題になると、「JRが勝手なことを行っている」といった厳しい声がかかります。

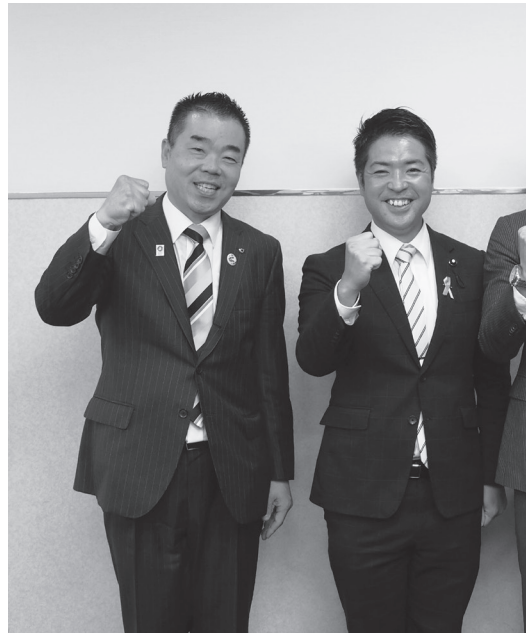
昨年9月の議会において、コロナ禍でのJR西日本の窮状、例えば、徹底したコスト削減に加え、JR発足以降初めとなる、一時帰休や部外出向などを行っている実態について発言し、少しでも、JR西日本の置かれている状況を理解してもらおうと取り組んでいます。地

公共交通への支援策を実現

方議員、地方議会として、自分たちの地域の公共交通を自分たちでどうしていくのかを地域、行政、交通事業者と議論し、考えていかなければなりません。

また、JR西労組から中国ジェイアールバス、JR西日本宮島フェリーも苦境に陥っていることを伺い、それぞれの会社にヒアリングに伺いました。広島電鉄出身の広島市議と共に、交通労協を通じて有効な支援策を検討し、ダイレクトに届く資金面の支援を求め、地方創生臨時交付金を活用し、39億円の助成が行われました。知事からは、全国的にも公共交通にこれほどの支援が行われた例はないと言われました(苦笑)。

また、広島県が示した「高度医療・人材育成拠点基本構想」において、現行のJR広島病院のエリアが



京都府議会議員
梶原英樹氏



梶原英樹(かじわらひでき)氏
プロフィール

■1983年5月6日生 京都市山科区出身
大宅小学校、大宅中学校、東稜高校卒業
■2002年4月 JR西日本入社
駅、車掌を経験後、輸送指令、安全推進室で勤務
■2017年8月 JR西労組京都地本執行委員
■2019年4月 京都府議会議員選挙(山科区)にて初当選
趣味は野球、ソフトボール、ソフトバレー、バドミントン、卓球、星空観測

2023 新 座談

広島県議会議員 柿本 忠貞氏
京都府議会議員 梶原 英樹氏
中央執行委員長 上村 良成



滋賀県知事
三日月大造氏

三日月大造(みかづきたいぞう)氏 プロフィール

■1971年5月24日生 滋賀県出身
■1987年3月 大津市立日吉中学校卒業
(軟式野球部、生徒会会長)
■1990年3月 滋賀県立膳所高等学校普通科卒業(硬式テニス部、生徒会会長)
■1994年3月 一橋大学経済学部卒業(石弘光ゼミナール、体育会硬式庭球部)
■1994年4月 JR西日本入社、広島支社岩国駅(駅営業係)、広島運転所(運転士)、広島支社営業課(営業スタッフ)、本社総合企画本部(グループ経営推進室)
■1999年11月 JR西労組中央本部青年女性委員長(専従)、JR連合青年・女性委員会議長(兼務)
■2002年4月 松下政経塾23期生として入塾
2003年5月末 早期修了
■2003年11月 第43回衆議院議員総選挙にて、滋賀県第3区より初当選(以降、4期連続当選)民主党政権下で国土交通大臣政務官、国土交通副大臣を歴任。
■2014年7月 滋賀県知事初当選、2018年6月、2022年7月に再選を果たし現在3期目。

「コロナにまげず、みんなでつくる『健康しが』」を合言葉に「シガリズムで健康しが」を作るべく取り組む。座右の銘は「一期一会」「着眼大局 着手小局」。趣味はウォーキング・自転車。好きなものは、ふな寿司、キウイフルーツ。

― 新しい年を迎えるにあたり、JR西日本グループへの期待について

柿本、梶原両議員のコロナ禍での取り組みを伺ったのと同じように感じられますか。

上村 JR西日本の経営状況は未だ厳しく、組合員の生活も苦しい状況が続いています。今冬のボーナスは1.8箇月プラス3万円



― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。

― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。

JR西日本グループ全体で 街づくり、地域づくりに貢献を

― 柿本、梶原両議員のコロナ禍での取り組みを伺ったのと同じように感じられますか。

上村 JR西日本の経営状況は未だ厳しく、組合員の生活も苦しい状況が続いています。今冬のボーナスは1.8箇月プラス3万円

― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。

― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。

― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。

― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。

お聞かせください。

三日月 JR西日本はなくてはならない会社であり、地域共生を実践し、地域と対話する姿勢を大事にする会社だと感じています。自治体が一方的に要望するだけではなく、共に創っていく、「共創」の関係にあることが重要であり、とても期待しています。

― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。

― 支援はとも心強く、とりわけ、地方創生臨時交付金を活用した様々な支援、例えばICOCAの利用補助など鉄道利用を促すような支援が広がっています。コロナ禍でなければこの様な支援はなかったと思います。きつかけは別として、地域との連携、関わりが深まったことは今後に繋がることと確信しています。